

きよなん



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458

議会事務局 TEL 0470-55-4804

第 112 号



B&G 海洋センター 新しいプール棟の完成を祝う

は
や
わ
か
り

3 月定例議会

土地の埋立、盛土及びたい積条例を改正	2	ページ
補正予算		
総額 1 億 2 千万円 プレミアム商品券発行	3	ページ
一般質問		
小藤田・緒方・三国の 3 議員	4~5	ページ
予算審査特別委員会		
一般会計当初予算 40 億 441 万 8 千円	6~7	ページ
裏表紙		
国交省の重点道の駅候補に選定	8	ページ

3月議会

土地の埋立、盛土及びたい積条例を改正

3000平方メートル以上も町条例で

当初予算など23議案可決

3月定例議会は、会期を3日から13日までの11日間として開催した。議案は条例関係10件、指定管理者の指定1件、平成26年度補正予算6件、平成27年度当初予算6件の合計23件。平成27年度当初予算については、予算審査特別委員会を設置し、審査した。一般質問は、小藤田・緒方・三国の3議員が質問席に立った。

地域の実状に 即した規制へ

通常、土砂等により埋立てや盛土を行う際、面積が3千平方メートル以上の場合は県条例で規制している。鋸南町には、稼働中、未廃止合わせて7カ所の岩石採取場がある。ついでには、町民の安全と環境保全のため、県残土条例の適用除外を受け鋸南町の実情にあった形での改正案を可決した。改正後、埋立等に使用される土砂等については「環境基準に適合し、千葉県内から発生した土砂等で発生

場所が特定されているものに限定され、監視体制についても、環境パトロールの強化を図っていく。

なお、平成26年3月現在では県内16の自治体が適用除外を行っている。この条例は周知期間を設け、平成27年10月1日から施行するが、事前協議については、平成27年4月1日から施行となる。

奨学金を大幅アップ

町では、経済的な理由で就学が困難な学生に対して

奨学資金の貸し付けを行っているが、大学生等（短大・専門学校含む）への月額貸付けを、現行2万円以内から3万円以内に、入学準備金の貸付額を現行5万円以内から20万円以内に増額する改正案を可決した。

また、一般会計当初予算については、1名の反対討論の後、賛成多数で可決。その他の条例改正及び指定管理者の指定、企業会計当初予算については全員賛成で可決した。

主な質疑

質問 埋立、盛土及びたい積の規制に関する条例は、県の条例と比べて極端に厳しくなるが、訴えられる心配はないのか。
地域振興課長 弁護士や検察庁とも協議を行い、パブリックコメントも実施しましたので、訴えられても大丈夫だと判断しています。
質問 他市町では、専門的な知識をもつ職員を置いて

いるが町の今後の対応は。
地域振興課長 担当課で連携し、職員研修や知識の習得に努めます。
質問 土砂等の発生元を變更した場合の対応は。
地域振興課長 軽微な變更等を規則で定めていきますが、発生元の変更にについては、変更申請の対象とする予定です。

地方振興推進のため

10事業を計画

3月の一般会計補正予算は、412万1千円を減額し、補正後総額を50億1651万円として、全員賛成で可決した。

主な一般会計補正予算の内容は、「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を受け実施予定の、プレミアム商品券発行业業・地方

版総合戦略策定事業・商店街活性化事業補助金など、合計10事業の事業費の増額補正及び最終補正のため各事業費確定の減額補正など。

4議員が功労表彰を受賞

議会議員として多年にわたり町の地方自治振興ならびに議会機能向上に貢献され功績のあった者として、全国町村議会議長会から中村豊議員・平島孝一郎議員・笹生正己議員・松岡直行議員の4名が自治功労表彰を受けた。



右から、中村議員・平島議員・笹生議員・松岡議員

定例会の

質問 総合戦略推進委員会で協議する内容は、**総務企画課長** 基本的にコンサルタントに委託を行います。5力年の地方版の総合戦略、基本方向や施策をまとめるために15名で4回の会議を予定しています。**要望** 地域・職員・委員の力を存分に発揮した計画策定を望む。

質問 地方創生の取り組みに対する庁内組織の考え方は、**総務企画課長** 特別なチームを組織するのではなく、各課より人選したメンバーで事業を進める考えです。**要望** かなり大きな事業なので、はつきりとした組織をつくって対応してほしい。

総額1億2千万円

プレミアム商品券発行

国の緊急経済対策の目玉として、26年度補正予算に総額4200億円の地方創生の新たな交付金が計上された。鋸南町におい

ても地域の消費喚起及び生活支援を行う目的で、国からの交付金2114万9千円、県補助金425万8千円を活用し、総額1億2千万円分の「鋸南町プレミアム商品券(仮称)」の発行を予定している。商品券は2種類を予定し、プレミア

ム率は20%となる。例として、1万円の設定を購入した場合1万2千円分、5千円の設定を購入した場合6千円分の買い物ができる。今後は、事業主体となる商工会と協議し、平成27年7月頃を目途に発行を行う。

ここがききたい



いっぱい

質問

都市交流施設

集客の目玉は



小藤田 一幸 議員

質問 運営管理者が決まり、年間来客数28万人、売上高2億4千万円を目指す経営方針が示された。町からの委託料は、平成27年度は2320万円で、その後次第に減り4年目からはゼロになる予定になっているが実現は可能か。

町長 平成30年度からは営業利益が生じる見込みなのでそのとおりです。

質問 潮風王国は路地花、枇杷倶楽部はびわ、富楽里は野菜・花と特色をもって。都市交流施設の集客

の目玉はなにか。

町長 宿泊機能や入浴施設、子どもの遊び場スペースなど滞在型の機能を生かしたいと思っておりますが、今後魅力あるものにしていく取り組みが必要だと思います。

質問 これまでの事業計画策定で、いくらコンサルタント料を支払ったのか。ま



緒方 猛 議員

質問 「新」道の駅建設にあたり、町長は「任期中に人口減を食い止める」と答弁したが、現総合計画の将

た、今後発注の予定はあるのか。

町長 いままで約3017万を支払いましたが、今後発注の予定はありません。

質問 4月下旬、富津館山道路富浦料金所近くのパチンコ店跡に観光客向けの大型複合施設ができる。600坪の売り場面積に農産物・海産物・お土産・フードコーナーを造り、年間来客数100万人、売上高15億円を目指すという。ますます高速道路から保田へ降りる客の減少が予想されるなかで、12億8千万円かける交流施設がどの程度町の活

性化に寄与すると想定しているか。

町長 町内業者への工事発注や施設の開業収入などの経済効果、都市住民との交流による活性化の効果などを想定しています。



直売所へ改修中の旧保田小体育館



人口減対策に数値目標を

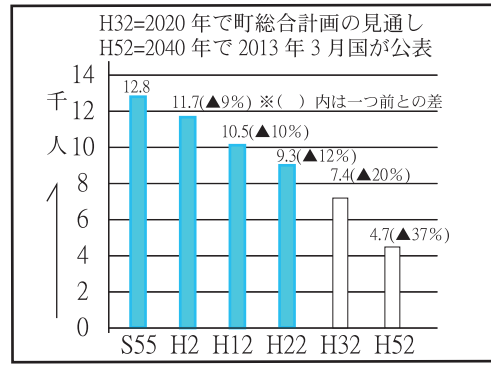
「空き家バンク」事業化へ一歩

来推計では、この10年間で人口が20%減少するとしている。数値を見直す考えはあるのか。

町長 総合計画は、現時点での修正は考えていません。しかし、議員が提唱してきた人口減少問題は、日本創



デイサービスでの運動



鋸南町の人口推計グラフ

介護保険 新制度で困る人が出ないように プレミアム商品券 サービスや修理などの支払いにも

成会議の「地方消滅」を Endpointに国の政策として急速に高まりました。その後政府が「地方人口ビジョン」策定を各自自治体に要請したため、鋸南町でも平成27年度中に将来展望を策定します。見直しはこの時点で行う予定です。

人口の先に移住や定住の可能性がある」と答弁されてきたが、同種の施設研修や近隣市の実績から見ても望みは薄い。さらなる取り組みが必要だと思うが。

町長 御指摘のとおりですので、「新」道の駅建設の取り組みのほか、人口減少対策については、27年度内

町長 町内の空き家は672軒、うち利活用可能な空き家は68軒の見込みです。交付金を活用し、事務業務の準備及び、業界団体との協約締結をし、事業開始は平成28年早々を目標とします。

質問 介護保険の「要支援1と2」の高齢者向けサービスを介護保険から外して市町村による別のサービスに移行させる制度が平成27年度からスタートする。移行の最終年度は29年度。移行にあたり、綿密な準備をして、移行によって困る人が出ないようにする必要がありますか。

あるかどうか。
町長 移行は平成29年4月からを予定し、介護支援認定の有効期間が終了する方から順次、地域支援事業に移行していただく計画になります。介護保険のホームヘルプサービス事業所やデイサービス事業所に業務を委託する予定で、利用者の

不利益とならないよう配慮し、広報やホームページはもちろん、各地域での説明会を開催する予定です。該当者には個別に周知をし、円滑な移行を目指します。
質問 「地域支援交付金」は物価上昇などに苦しむ住民の生活と地域経済に対する支援の財源となりうるも

町長 活用は可能と考えます。今後、事業実施をお願いする予定の商工会とも、利用可能な店舗や業種が増えるよう協議し、行政としても、関係者への働きかけを実施したいと考えます。



三国 幸次 議員



特別委員会

都市交流施設に

太陽光発電システム費等を計上

平成27年度の当初予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（松岡直行委員長）を設置して審査を行い、すべての予算を全員賛成で可決すべきものと決定した。一般会計予算は、予算総額を40億441万8千円とし、前年度当初予算と比較すると、9987万5千円の増となるもの。

新年度で予定している主な事業は、都市交流施設整備事業費2億2380万7千円、橋梁長寿命化修繕事業7020万円、幼稚園改築設計委託2260万円、臨時福祉給付金給付事業1961万7千円など。

まちづくり寄付金を活用

特典をつけ町のPRに

主な質疑

☆総務企画課

質問 豊かなまちづくり寄付金の業務代行委託料1065万円の内容は。

企画財政室長 寄付金業務の一括代行の内訳は、1万円の寄付に対し、送料を含め特典分が5千円、業務代行料が2千円の計7千円が委託料分で、町の収入分は3千円です。年間1500万円の寄付金を見込み、委託料を計上しました。

質問 デジタル戸別受信機の配布先は。

総務管理室長 修理依頼や、新規希望世帯が増加しているため、代替機や予備分として40台を購入します。

質問 消防団員の確保についての対策は。

総務企画課長 団員の確保は厳しい状況ですが、区長に声掛けをお願いする等、分団と協力し、対応します。

☆税務住民課

質問 たばこ税の収入予算

は5979万4千円と、26年度の補正後予算額より少ないが、その理由は、**税務収納室長** たばこ税は、健康志向の高まりや消費税増税の影響を考慮して計上しています。

☆保健福祉課

質問 温泉化した老人センターの利用状況は。

保健福祉課長 4月から2月までの入浴者数は、平成25年度8296人、平成26年度1万2764人と前年比で4468人の増となりました。

これは施設を温泉化したことや自衛隊員の利用による増です。

☆地域振興課

質問 道路維持補修費について、予算の執行状況は。

地域整備室長 例年ほぼ使い切る状況ですが、27年度は26年度より増額しました。

質問 鳥獣被害対策実施隊員の日当引き上げについて、有害鳥獣対策協議会との協



豊かなまちづくり寄付金（ふるさと納税）パンフレット

予算審査

一般会計対前年度比 2.6%の増額

当初予算 40億 400万円

平成 27 年度当初予算

一 般 会 計	40億 441万 8千円
国民健康保険特別会計	14億 5,946万 6千円
後期高齢者医療特別会計	1億 695万 9千円
介護保険特別会計	11億 6,867万 9千円



現在の給食センター食器洗浄機

議はどうなったのか。
地域振興課長 協議の結果、防除対策への要望が大きかったため、有害獣被害防止対策事業の補助金を6分の1から2分の1へ引き上げました。

質問 不法投棄監視用カメラの確認方法は、まちづくり推進室長 SDカードに8日分を記録し、

一週間に一度交換して、内容を確認します。

☆教育課

質問 中央公民館の調理室を修繕する予定はあるのか。
教育課長 調理室は水道管やガス管の腐食により使用できません。希望者は「すこやか」の調理室を活用いただいています。中学校の家庭科室の利用も検討しています。今後調理室は、多目的な部屋としての活用

を検討する考えです。

質問 給食センターの食器洗浄機は8年のリースで2200万円と高額だが、購入すべきではないか。
教育課長 財政事情を考慮し、単年度の高額負担よりも長期リースによる財政負担の平準化を選択しました。

鋸南病院内視鏡更新など

☆国民健康保険特別会計

質問 今年度から、1円以上のすべての医療費が県全体で共同事業化されるが、そのメリットは。また、国の財政支援や共同運営の組織は。
税務住民課長 保険財政共同安定化事業は保険料の平準化・財政の安定化を図ることが目的ですので、対象医療費が拡大されることにより国保財政の安定化が見込まれます。また、国からの財政支援はなく、共同事業の運営主体は千葉県国民

健康保険団体連合会で行います。

☆介護保険特別会計

質問 居宅介護及び施設介護の対象者人数は。
保健福祉課長 居宅介護は389名、施設介護は144名と見込んでいます。

☆鋸南病院事業会計

質問 医療器具整備費3200万円の内容は。
保健福祉課長 内視鏡の更新ですが、胃カメラ用が4本と大腸用が2本です。

☆水道事業会計

質問 有収率の状況は。
水道副課長 昨年度の有収率は84%でしたが、今年度は大きな漏水により1から2%は落ちると推測します。
質問 当初予算の営業未収金の見込みは。
水道副課長 270万円程増加すると見込んでいます。

業の運営主体は千葉県国民

重点道の駅候補に選定

「道の駅 保田小学校」 今年12月オープン

閉校した旧保田小学校と周辺の里山を活用した都市交流施設「道の駅 保田小学校」は、事業費総額約12億8千万円で平成27年12月にオープンを予定しています。

地域経済の拠点として期待されるこの施設は、南房総地域のランドマークを指しており、道の駅の必須機能のほか、直売所や物販、飲食店舗などの機能が導入されます。

また、オンリーワンになり得る特徴的な機能として、教室棟の2階に宿泊機能や入浴施設、子どもの遊び場スペースなど滞在型の機能を導入予定です。

さらに、今年1月には、国交省が打ち出した重点道の駅構想で「道の駅 保田

小学校」が重点道の駅候補として選定されました。オープン前の道の駅としては異例の選定ですが、これは廃校施設の活用や導入予定の各種機能が

高い評価を受けたことによるものです。「道の駅 保田小学校」が地域活性化の要となるため、一人でも多くの町民の方に施設に

関わり、活用いただき、



改修が始まった旧保田小学校

1月30日	議会運営委員会	3月3日	平成27年第2回議会定例会
2月4日	平成27年第1回臨時議会	3月4日	議員全員協議会
2月19日	議員全員協議会及び小学校跡地等利用検討特別委員会協議会	3月6日	予算審査特別委員会
2月25日	議会運営委員会	3月13日	議員全員協議会
		3月26日	議会広報特別委員会

議会の日誌

編集後記

私は新聞の投稿欄を好んで読みますが、最近は「人口減少」、「地方消滅」、「地方創生」などに関する記事がやたら目に付きます。

一昔前はあまり記憶にありませんでしたが、鋸南町は相当昔から人口減が進み、平成32年までの10年間で驚きの20%もの人口減が推計され、町の活力は減退しています。

人口維持を重視する政策は、「保育や子育て支援」「企業誘致や新産業創出」「移住の推進・支援」など大切です。これらの遅れは気付いてみれば足腰が立たなくなっているというところになり兼ねません。自治体の有り様を持ち場・立場で見直し知恵を出し議論を重ね、ふるさと鋸南創生にその役割を果たさなければならぬと痛感します。

緒方